

**第 10 回ネイバーストロフィー**  
**台湾・韓国・日本チーム選手権**  
**日本開催並びに競技方法変更について**

**◆本年度 本選手権 実施概要**

- 主 催 : (財) 日本ゴルフ協会、韓国ゴルフ協会、台湾ゴルフ協会  
後 援 : ロイヤル&エインシエント GC (R&A)  
開催期間 : 平成 22 年 5 月 26 日 (水) ~28 日 (金)  
開催地 : 鷹之台カンツリー倶楽部 (日本・千葉県)  
出場選手 : 各国男子 4 名・女子 3 名  
※日本代表選手は、4 月下旬に決定  
競技方法 : 1 日 18 ホール、3 日間合計 54 ホールのストロークプレー。  
各日とも、各チーム男子 4 人中 3 人、女子 3 人中 2 人のベストスコアをその日のチームスコアとし、3 日間の合計で優勝を争う  
※本年度より各チームの出場選手数が 1 名ずつ減り、競技日数が 2 日間から 3 日間となりました。

(参考：昨年度 実施概要)

- 主 催 : (財) 日本ゴルフ協会、韓国ゴルフ協会、台湾ゴルフ協会  
後 援 : ロイヤル&エインシエント GC (R&A)  
開催期間 : 平成 21 年 7 月 21 日 (水) ~22 日 (金)  
開催地 : Ora CC (韓国・済州島)  
出場選手 : 各国男子 6 名・女子 4 名  
競技方法 : 1 日 18 ホール、2 日間合計 36 ホールのストロークプレー。  
各日とも、各チーム男子 6 人中 5 人、女子 4 人中 3 人のベストスコアをその日のチームスコアとし、2 日間の合計で優勝を争う

#### ◆開催コースの紹介

4回目のホスト国となる本年は、千葉県の大鷹之台カンツリー倶楽部が舞台となります。同倶楽部は、1954（昭和29）年に開場。名称の誉れ高い井上誠一氏による設計で、フラットな地形に自然の巨木を生かしたレイアウトが戦略性を高めている国内有数の難コースとして知られています。2011年には3度目となる日本オープン（1961年、2000年）開催が決定しています。その他、1963年に日本アマ、1957年、2006年の日本女子アマも開催されている同倶楽部。アウト・インとも松林にセパレートされ、ティーショットの正確性が求められます。また、要所に設けられたバンカーがプレーヤーを苦しめます。3協会の代表選手がこの難コースをいかに攻略するか興味が尽きません。

#### ◆本選手権の沿革

日本・韓国・台湾の3ゴルフ協会は、ナショナルチームの選手強化と国際親善を目的に2000年まで日本と韓国、日本と台湾との親善競技を開催してきました。その後、3協会間でアジアアマチュアゴルフ界を牽引するナショナルチームが互いに切磋琢磨する場を設け、アジア地域のゴルフ界の更なる発展に寄与するとの共通意識が生まれ、2001年から3協会の親善競技を「ネイバーズトロフィーチーム選手権」として国際公式競技に位置付け、3協会が順番にホスト国となり毎年開催され、10回目となる本年より競技方式が上記の通り変更されました。

なお、記念すべき第1回大会は日本がホスト国となり、千葉県の我孫子ゴルフ倶楽部で開催し、団体戦で男子が優勝、女子が2位となりました。その後、日本チームは男子が2004年大会（宝塚GC・新）、女子が2004年（宝塚GC・新）、2005年（Sunrise GC・台湾）、2007年（三好CC）の3大会でチーム優勝を果たしています。

#### ◆大会の情報について

ネイバーズトロフィーの競技報告、選手コメントなどはFAXで配信致します。成績並びに大会風景写真は、当協会ホームページ（<http://www.jga.or.jp>）でご覧いただけます。

本件に関するお問い合わせ先  
（財）日本ゴルフ協会 事務局  
担当 内田/山下/長堀  
TEL.03-3566-0003 FAX.03-3566-0101

ネイバーズトロフィーチーム選手権

日本代表選手歴代記録

開催年／主催国	チーム優勝	日本順位	日本チームスコア	参加選手及び個人順位		
2001／日本 (我孫子GC)	男子：日本	1位	694	宮里優作（1位） 藤田大（6位）	藤島晴雄（3位） 池田力（9位）	井関剛義（4位） 太田直己（18位）
	女子：韓国	2位	433	北田瑠衣（3位） 成田いづみ（6位）	宮里藍（5位） 佐伯三貴（12位）	
2002／台湾	男子：台湾	2位	716	中島徹（3位） 井関剛義（9位）	高山準平（6位） 香山隼人（11位）	藤田大（8位） 石井保行（17位）
	女子：韓国	3位	442	横峯さくら（3位） 諸見里しのぶ（10位）	真鍋早彩（9位） 青山加織（11位）	
2003／韓国	男子：韓国	2位	725	石川裕貴（3位） 井関剛義（10位）	甲斐慎太郎（5位） 藤島豊和（13位）	中島徹（6位） 藤田大（14位）
	女子：韓国	2位	445	宮里藍（1位） 井芹美保子（8位）	諸見里しのぶ（7位） 原江里菜（11位）	
2004／日本 (宝塚GC)	男子：日本	1位	693	池田勇太（1位） 諸藤将次（6位）	石川裕貴（3位） 上井邦浩（7位）	額賀辰徳（5位） 藤島晴雄（13位）
	女子：日本	1位	428	原江里菜（1位） 佐伯三貴（3位）	香山麻央（2位） 諸見里しのぶ（4位）	
2005／台湾	男子：韓国	2位	724	吉田泰典（2位） 芳賀洋平（6位T）	藤島晴雄（3位） 岩井亮磨（12位）	池田勇太（6位T） 山本隆允（18位）
	女子：日本	1位	429	佐伯三貴（1位） 若林舞衣子（6位）	吉田弓美子（2位） 宮里美香（11位）	
2006／韓国	男子：韓国	2位	705	安本大祐（4位T） 永野竜太郎（8位T）	井関剛義（6位T） 真田雅彦（10位T）	田村尚之（8位T） 飯田耕正（13位）
	女子：韓国	2位	432	吉田弓美子（3位） 原江里菜（6位T）	宮里美香（4位T） 一ノ瀬優希（10位）	
2007／日本 (三好CC)	男子：韓国	2位	736	井関剛義（2位） 小林伸太郎（10位T）	永野竜太郎（4位T） 田村尚之（10位T）	藺田峻輔（6位T） 柴田健太郎（14位T）
	女子：日本	1位	439	宮里美香（1位） 新井麻衣（10位）	藤本麻子（3位） 森桜子（11位T）	
2008／台湾	男子：韓国	3位	816	伊藤勇氣（5位T） 古田幸希（14位T）	永野竜太郎（7位） 伊藤慎吾（17位T）	宇佐美祐樹（13位） 大槻智春（17位T）
	女子：韓国	3位	505	森田理香子（6位） 綾田紘子（10位）	栗原えりか（8位） 福田真未（11位）	
2009／韓国	男子：韓国	2位	698	宇佐美祐樹（2位） 川村昌弘（11位）	藺田峻輔（4位） 伊藤慎吾（14位T）	大田和桂介（8位） 大槻智春（18位）
	女子：台湾	3位	442	福田真未（6位） 渡邊彩香（11位）	香妻琴乃（8位T） 東香里（12位）	